

第2回検討委員会グループワーク意見のまとめ

【多様性を尊重し合う共生社会づくりを推進するための基本的な考え方】

「多様性を尊重し合う共生社会とは」

A グループ

◆子ども ◆高齢者 ◆障害者

◆子ども

- ・どんな子どもも等しく教育を受けられる社会
- ・子どもは社会の宝として社会から尊重する社会
- ・豊かな遊びを自由に展開できる場があること
- ・希望をもってみんなが生きていける社会（子どもが・・・）
- ・子どもの視点で大人社会を振り返る社会
- ・子どもの人格が平等に保障される社会
- ・今も未来も共に生きる者として尊重し合う社会

◆高齢者

- ・高齢者が安心して助けを求められる社会
- ・生きてきた中での経験に基づく価値や考えが尊重されること

◆障害者

- ・障害のある方が特別扱いされない社会
- ・困っている人が居れば助ける人が増えればいいなあ
- ・普通の人として扱ってほしい
- ・自分の性質をよく知り、希望を周囲と共有し実現できること

◆全体

- ・住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会
- ・生き生きと暮らせるとは
 - ①社会の構成員が
 - ②人格が尊重されている
 偏見や差別がない
- ・学びやチャレンジの機会を望む人に提供される社会
- ・誰でも居場所があり参加できる社会

Bグループ

◆女性 ◆性的少数者 ◆国籍

- ・自分ごととして考える
- ・相手のこととしっかり理解すること
- ・住民同士の交流
- ・助け合い
- ・自己理解
- ・スタディツアー
- ・教育
- ・広報
- ・罰則

(その他の意見)

- ・マンガ、ドラマ、映画
- ・講演
- ・人間社会以外の共生社会からヒントを探す
- ・差別のある地域とない地域をデータ化し影響を考える

- ・認め合う社会
- ・対話
- ・多様性が当たり前の社会
- ・価値観の共存
- ・相互理解
- ・意見の尊重ができる社会

- ・認める（自分が正解ではない）
- ・比較しない
- ・自己開示

- ・身近に存在
- ・縦のコミュニティ
- ・お隣さんと仲良くする
- ・地域行事に参加
- ・集会
- ・コミュニティ参画
- ・全員参加イベント

「多様性を尊重し合う共生社会を推進するための課題」

A グループ

◆子ども

- ・人と異なるといじめられる
- ・いじめ、虐待等早急に対応できる機能的な体制づくり
- ・子どもの実態や課題を大人が正しく理解する
- ・子育て機能の低下
経験不足＝一面？（大人、子ども）
- ・学校、家庭、社会等の連携体制
- ・親世代の育児に関する情報リテラシーの格差、孤立による問題
- ・学校の負担が大きくなっていること（様々な支援のニーズの増加）
- ・親による子どもへの愛が？
- ・子どものいじめに対する保護者の正しい理解の促進
- ・学校の負担が大きくなっていること（様々な支援のニーズの増加）
- ・子どもの人権教育（自分を守ること）

◆高齢者

- ・高齢者＝できない という偏見がある
- ・社会参加できない高齢者の働き方。経験知識を活かせる働き方
- ・高齢者が活躍できる場が社会の中で少ない
- ・自立できる環境の充実
- ・住み慣れた家で過ごすためのサポートが十分でない
- ・障害者が高齢者年代になった際の制度移行の難しさ

◆障害者

- ・障害者＝特別な人 という決めつけがある
- ・支援者の待遇や安全の確保
- ・バリアフリーの取組が進んでいない（お金）
- ・ニーズを把握して支援を行う仕組みの柔軟性の欠如
- ・合理的配慮の共有
- ・田舎ほどインフラ整備が遅れている

◆全体

- ・人権という概念が社会に浸透していない
- ・大人向けの人権教育が足りていない
- ・就労・労働に関する社会構造の変化、経済格差
- ・自分の人権を守る意識

- ・働く場所が少ない
- ・人権学習の格上げ？
- ・活躍できる場所がない
- ・心のバリアフリー必要

Bグループ

◆女性（性別）

- ・政治政策方針等決定の場など消極的（←女性目線なし7：3）
- ・議員や役職が少ない（←女性目線なし7：3）
- ・男性中心社会からの脱却
- ・家事や育児など夫婦間の役割分担
- ・給与の違い
- ・家事に収入がない

（その他の意見）

- ・家庭の中で仕事が多すぎ
- ・キャリアの分断
- ・男女差別をなくす意識改革
- ・子育て、仕事、家事との両立
- ・子育ての負担
- ・社会進出、働きやすい環境づくり
- ・社会と家庭を両方任されている政治
- ・整理による体調、精神不安定
- ・女らしさ、男らしさという価値観
- ・女性自身のあきらめ
- ・田舎での役割の違い（自治体）

◆性的少数者（性別）

- ・婚姻制度（←これが重要）
- ・子どもを持つ権利も必要
- ・理解及びサポート体制（←開かれた議論が大切）
- ・学校の中からの差別や偏見（←教育）（←開かれた議論が大切）
- ・別コミュニティとなっている（←当事者が隠す）
- ・夫の母からの目線（←他者、社会からの目線）

（その他の意見）

- ・「常識」「あたり前」という感覚
- ・気持ちが悪い・・・
- ・ウワサ話

- ・なぜ、人が幸せだと言っていることを止めるのか？
- ・テレビの中の出来事
- ・他人事
- ・過去のメディアの間違った取扱い
- ・子をもてない
- ・男性、女性を意識し過ぎない
- ・男らしさ、女らしさという言葉
- ・戸籍制度の変革
- ・他国ではすでに法制化（同性婚）

◆国籍

- ・言葉の壁（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）
- ・観光客はウェルカム、移住者は迷惑
- ・地方参政権
- ・隣国関係
- ・外国人への不信感（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）
- ・異文化を理解するイベント（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）
- ・低賃金や不安定な雇用条件（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）

（その他の意見）

- ・入国管理法
- ・移民対策
- ・法制度の問題
- ・日本の中で外国の方へ向けたサポート体制
- ・文化の違い
- ・説明不足から生じるマナー違反
- ・外国人の犯罪者扱い
- ・知らない国や文化への恐れ
- ・白人、アジア人、黒人という感覚
- ・多民族国家の中にもヒントがあるかも